

少数台数のリコール届出の公表について（平成18年7月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成18年7月は下記のとおり12件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日本フルハーフ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月5日	1691	車名：フルハーフ 型式：DFVFA241AN 他	20	平成15年4月3日～ 平成17年12月23日
不具合の部位等		リフトアクスル機構（空車時又は軽積載時に車軸が自動的に上昇する機構）付きセミトレーラエアサスペンションにおいて、リフトしたアクスルが下降する際、当該サスペンションに大気を導入するバルブにエアフィルターが取り付けられていないため、当該バルブ内部にゴミが侵入してエアが漏れることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けるとエアスプリングが機能せず、最悪の場合、走行安定性が損なわれるおそれがある。		

2. 届出者：極東開発工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月5日	1692	車名：極東 型式：KTT280改 他	10	平成15年7月18日～ 平成16年12月29日
不具合の部位等		リフトアクスル機構（空車時又は軽積載時に車軸が自動的に上昇する機構）付きセミトレーラエアサスペンションにおいて、リフトしたアクスルが下降する際、当該サスペンションに大気を導入するバルブにエアフィルターが取り付けられていないため、当該バルブ内部にゴミが侵入してエアが漏れることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けるとエアスプリングが機能せず、最悪の場合、走行安定性が損なわれるおそれがある。		

3. 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月6日	1695	車名：三菱 型式：F13 他	64	平成17年8月4日～ 平成17年12月13日
不具合の部位等		リヤアクスルにおいて、フレームのアクスルサポート部の加工が不適切なため、ブッシュが適正に組み付けられず、フレームとアクスル取付プレート間に隙間が生じているものがある。そのため、そのまま使用を続けた場合、フレームとプレートを締結するボルトの締付トルクが低下し取付ボルトが緩み、プレートが脱落し、最悪の場合、フレームからリヤアクスルが外れ、走行不能に至るおそれがある。		

4. 届出者：プジョー・ジャポン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月11日	外1319	車 名：プジョー 型 式：GH-T5RFK 通称名：プジョー3077エリヌ・スポーツ	32	平成17年 7月21日～ 平成17年10月17日
不具合の部位等	車体のサイドメンバーにリヤアクスルを取り付けるための補強板と当該メンバーの溶接が不適切なため、がたが発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該メンバーとリヤアクスルブラケットの取付ボルトが緩み、最悪の場合、ボルトが外れて当該ブラケットが車体から分離し、走行安定性が損なわれるおそれがある。			

5. 届出者：ロールスロイスモーターズリミテッド

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月13日	外1316	車 名：ロールスロイス 型 式：ABA-1S68L 通称名：ファントムEWB	2	平成18年 3月16日～ 平成18年 3月20日
不具合の部位等	リアショックアブソーバ下側取付部のブッシュの外周の金属プレートとゴムとの接合加工が不適切なため、金属プレートが剥離するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ショックアブソーバとブッシュが分離し、最悪の場合、ショックアブソーバが取付部から外れ、走行安定性を損なうおそれがある。			

6. 届出者：ニコル・レーシング・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月13日	外1318	車 名：BMWアルピナ 型 式：GH-TH10 他 通称名：アルピナB7	2	平成18年 5月25日～ 平成18年 6月22日
不具合の部位等	リアショックアブソーバ下側取付部のブッシュの外周の金属プレートとゴムとの接合加工が不適切なため、金属プレートが剥離するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ショックアブソーバとブッシュが分離し、最悪の場合、ショックアブソーバが取付部から外れ、走行安定性を損なうおそれがある。			

7. 届出者：トライアンフジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月20日	外1327	車 名：トライアンフ 型 式：SMTLC10 通称名：ロケットスリー	48	平成17年 7月11日～ 平成18年 3月 3日
不具合の部位等	ハンドルを固定するボルトの締め付けトルクの指示が不適切なため、当該ボルトが緩むことがある。そのため、そのまま使用を続けると、走行中にハンドルバーが前後に動き、かじ取り操作ができなくなるおそれがある。			

8. 届出者：ゼネラルモーターズ・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月21日	外1322	車 名：サーブ 型 式：GF-EB235 他 通称名：9-5	74	平成14年 1月26日～ 平成14年 4月 4日
不具合の部位等	左側ナックルアームにおいて、鑄造工程が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ナックルに亀裂が生じ、最悪の場合、折損してかじ取り操作が出来なくなるおそれがある。			

9. 届出者：株式会社タダノ

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月21日	外1330	車 名：FAUN 型 式：不明 通称名：RTF600-7	33	平成10年 9月 7日～ 平成18年 5月 9日
不具合の部位等	空気式制動装置において、フロントフレームにエアタンクを取り付けるブラケットの構造が不適切なため、走行時のフレームの振れによりブラケットに歪が生じ、取付けボルトが緩むものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ボルトが外れ、最悪の場合、エアタンクが脱落してエアホースを損傷し、ブレーキが効かなくなるおそれがある。			

10. 届出者：ピー・エー・ジー・インポート株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月24日	外1325	車 名：ランドローバー 型 式：ABA-LS42S 他 通称名：レンジローバースポーツ	9	平成17年 4月22日～ 平成17年12月13日
不具合の部位等	9J-19インチホイール装着車の左前輪において、ホイールの内側リムとブレーキホース及びABS配線との隙間が狭いため、ハンドルを左側に一杯に切った際、ホイールにクリップ式バランスウェイトが取り付けられていると、ブレーキホース又はABS配線と干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ホース又はABS配線が損傷し、最悪の場合、ブレーキ液が漏れて制動力が低下する。又はABSが作動しないおそれがある。			

11. 届出者：三井物産オートモーティブ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月25日	外1328	車 名：シボレー 型 式：不明 通称名：エクスプレス	25	平成16年 6月28日～ 平成17年11月28日
不具合の部位等	シートベルトバックルのカバーの形状が不適切なため、当該バックル内部部品が確実に固定されていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、シートベルトが確実に装着できない又は解除できないことがあり、最悪の場合、衝突した際に乗員の拘束ができなくなるおそれがある。			

12. 届出者：日本ボルボ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月27日	外1329	車名：ボルボ 型式：PJ-F3RTF1 他 通称名：FH 他	25	平成18年 2月20日～ 平成18年 4月28日
不具合の部位等	主制動装置のブレーキパッドの材質が不適切なため、制動時の摩擦熱によりパッドが高温となり膨張するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキが引きずりを起こして異常に発熱し、最悪の場合、フェードが発生し、制動力が低下するおそれがある。			

[参考]

平成18年7月のリコール届出総件数（※）		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	14件	11件	3件
輸入車	15件	6件	9件
計	29件	17件	12件

※対象台数の追加の届出については届出総件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 中村、木内
電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352・42355)